



PRESS RELEASE

2025 年 4 月 10 日

【ブランド USA】

2025 年に全米各地で開催される無料で楽しめる アート・文化イベントの概要と、“お得な旅”のヒントを公開 円安でもアメリカ旅を満喫！

アメリカ合衆国では本年、全米各地でアートフェスティバルや文化体験型イベントなど、入場料なしで楽しめる多彩な催しが予定されており、アメリカの多様な魅力に気軽に触れられる絶好の機会となっています。円安の状況が続く昨今ですが、グルメや観光施設、公共交通機関をお得に楽しめる割引パスや、自然や地域の暮らしに触れる宿泊体験など、予算を抑えつつも満足度の高い旅を叶える方法がアメリカ国内には数多く揃っています。アメリカの公式観光促進情報サイト「GoUSA」ではこのたび、各地で開催される日本人旅行者におすすめの無料イベントの概要と、節約しながらアメリカ旅行を充実させるための最新ガイドを公開しました。

アートや音楽をテーマにした無料フェスティバル

アメリカ各地で本年末までに、アート、音楽、文化を体感できる無料のフェスティバルやイベントが多数開催されます。ミネソタ州ミネアポリスでは、毎月第 1 木曜および毎週土曜に、ノースイースト・ミネアポリス・アート地区の一部のギャラリーやアートスタジオが一般公開されます。なかでも注目されているのは、築 100 年を超える、農業資材を保管していた元倉庫を改装したアート施設「ノーサップ・キング・ビルディング」で、毎週土曜の正午から午後 4 時まで「オープンサタデー」を実施しています。また、5 月の第 3 週末に、1,600 名以上のアーティストが参加する無料アートイベント「アート・ア・ワール」が開催され、ライブ音楽やワークショップなど多彩な催しが行われます。

ルイジアナ州ニューオーリンズでは、伝説的なイベント「マルディグラ」が開催され、華やかなパレードや衣装、音楽など、ニューオーリンズの伝統文化を堪能できます。「マルディグラ」は無料で開催され、次回は来年 2 月の開催が決定しています。

ワシントン D.C.では、現在「全米桜祭り」が開催中で、桜の開花をお祝いする音楽やダンスなどのパフォーマンス、パレード、花火などの多彩な無料イベントを楽しむことができます。またワシントン D.C.では、年間を通して「ナショナル・モール」や「スミソニアン博物館群」など、多くの施設を無料で楽しむことができます。

ニューメキシコ州アルバカーキでは、世界最大級の熱気球イベント「アルバカーキ国際バルーン



ンフェスタ」が、本年 10 月 4 日から 12 日までの 9 日間にわたり開催されます。色とりどりの熱気球が秋空を彩る光景は圧巻で、会期中には、夜間のバルーンイルミネーションや音楽イベントなど、無料で楽しめるプログラムも多数用意されています。

フロリダ州セントピーターズバーグでは、毎年 10 月に開催される「SHINE ミュージカルフェスティバル」が開催されます。ダウンタウン一帯がアートのキャンバスとなり、2015 年の開始以来、170 以上の壁画が描かれてきたこの 10 日間のイベントでは、地元や国内外の著名アーティストによるライブペインティングが無料で楽しめます。本年度の開催日程は、後日発表予定です。

ジョージア州アセンズでは、本年 10 月 19 日に、「ヒストリック・アセンズ・ポーチフェスト」が開催されます。6 つの歴史ある住宅街が舞台となり、150 軒以上の家の玄関前にある屋根付きの小さな屋外スペース(ポーチ)で、約 200 のライブパフォーマンスが行われるユニークなフェスティバルです。アセンズならではの音楽文化と、コミュニティに根ざした温かい雰囲気が魅力です。

このようにアメリカ各地では、本年を通じて無料で楽しめるフェスティバルやイベントが数多く開催されます。ここからは、滞在中の旅費を賢く抑えつつ、より充実した旅を叶える節約術をご紹介します。

オフシーズンと主要観光地以外の地域を活用した賢い旅の計画

定番の人気観光地以外の旅行先を選ぶ、あるいはオフシーズンを選ぶことで、航空券や宿泊料金を通常より低く抑えることができ、ハイシーズンでは混雑必至の人気観光地もオフシーズンにはじっくりと楽しむことができます。西海岸の人気観光地の一つのサンフランシスコは、夏休みシーズンを避け、秋がおすすめです。晴天が多く、ゴールデンゲートブリッジやピア 39 といった人気スポットも比較的空いていることが多く、秋季は快適に観光を楽しむことができます。

人気の国立公園も秋以降の訪問がおすすめです。アーチーズ国立公園やキャニオンランズ国立公園の玄関口となっているのが、ユタ州モアブです。10 月中旬以降は観光客も減り、気候も過ごしやすくなるうえ、アーチーズ国立公園への入園予約も不要となります。レーニア山国立公園、グレーシャー国立公園、ロッキーマウンテン国立公園、シェナンドー国立公園、アーカディア国立公園といった他の国立公園も、秋以降は予約なしで入園可能な時期があります。詳細は、各国立公園のウェブサイトでご確認いただけます。

豊かな歴史と自然美を兼ね備えたウェストバージニア州ハーパーズ・フェリーでは、歴史ファンにとって見逃せない「ハーパーズ・フェリー国立歴史公園」が、街の中心部に点在する形で整備されており、石畳の歴史地区を歩きながら気軽に無料で見学することができます。町には趣あるショップが立ち並び、周囲にはハイキングやサイクリングを楽しめる自然のトレイルも充実しています。アメリカ建国の歴史と美しい自然が融合した、知的好奇心と癒しを満たすひとときを体験できます。



アイダホ州サンバレーでは、同州および西部地域の羊飼いの歴史と文化を祝う「**第 29 回トレイリング・オブ・ザ・シープ・フェスティバル**」が開催されます。紅葉が見頃を迎える本年 10 月 8 日～12 日に実施されるこのユニークな催しは、羊の群れが街を練り歩くパレードや、羊飼いの犬の競争など、多彩なプログラムが行われます。

カリフォルニア州のレイクタホでは、3 月下旬から 6 月にかけて、春スキーやハイキング、ビーチなどのアウトドアアクティビティが楽しめ、冬や夏ほどの混雑ありません。ニューメキシコ州サンタフェは春や秋が狙い目で、賑やかなサンタフェ・プラザ周辺の混雑もこの時期は少なく、宿泊費も比較的安価になります。

また、カリフォルニア州のソノマやナパの代わりに、セントラルコーストにあるパソロブレスを訪れば、世界レベルのワインをより手頃な価格と落ち着いた雰囲気を楽しめます。ミズーリーワインカントリーやオレゴン州ウィラメット・バレーも、隠れた実力派のワイン産地として注目されています。

交通費を賢く節約

ニューヨーク、サンフランシスコ、シカゴなどの主要都市では一定期間、公共交通機関（地下鉄、バス、路面電車）が乗り放題となる 1 日券や 1 週間無制限で利用できる、1 週間パスがおすすです。学生や子ども向けの割引がある場合もあります。

アムトラックでは、カリフォルニアゼファー号やエンパイアビルダー号といった長距離路線を利用することで、車窓の景色と車中での宿泊を一度に楽しめます。学生、シニア向けの割引も用意されています。

アラスカへの冒険を求める方は、アラスカ鉄道の旅がおすすめです。アンカレッジ、タルキートナ、フェアバンクスといった人気の目的地を乗り換えなしで訪れることができ、途中下車の観光ツアーを追加することも可能です。

コロラド州の山岳地帯を訪れる際は、車での移動を避け、デンバーから片道わずか 19～25 ドル（約 2,800～3,700 円）程度で利用できる「**バスタング**」やアムトラックの冬季限定で運行される「**ウィンターパーク・リゾートサービス**」などの手段も便利です。

また、多くの都市では、短距離移動に便利な自転車のシェアサイクルが利用可能で、ポートランド、サンフランシスコ、ワシントン D.C.などの都市は、シェアサイクルサービスが充実しています。アラバマ州ガルフ州立公園では、美しいビーチエリアを探索できる無料の自転車シェアサービスを利用することができます。



バージニアビーチでは、毎年 5 月から 9 月にかけて、街歩きや観光に便利な無料トロリー「ウェイブトロリー」が運行されます。午前 8 時から翌午前 2 時まで 15 分間隔で運行されており、ビーチやショッピングエリア、人気スポットを気軽に巡ることができます。リゾート感あふれる沿岸都市を快適に楽しむための心強い移動手段として、多くの観光客に親しまれています。

カンザスシティでは、「KC ストリートカー」が無料で利用でき、「ネルソン・アトキンス美術館」や「ケンパー現代美術館」、グリーティングカードで知られるホールマーク社の無料のアート体験スペース「カレイドスコープ」、クロスロード芸術地区内のアートギャラリーやスタジオが一般公開される「ファースト・フライデー」といった人気イベントや観光施設へ容易にアクセスできます。

ワシントン州ベルビューでは、洗練された街をスマートに巡る手段として、無料のオンデマンドシャトルサービス「ベルホップ」が提供されています。専用アプリで簡単に乗車予約ができ、市内各所へスムーズに移動することができます。観光はもちろん、ショッピングやグルメ巡りにも便利な移動手段として、多くの旅行者や地元の人々に活用されています。

さらに、ラスベガスのような徒歩で巡ることができる都市では、レンタカー不要で楽しめる無料スポットも豊富です。「ベラージオ コンサバトリー&ボタニカルガーデンズ」や噴水ショー、「ラスベガス・サイン」、「フラミンゴ・ワイルドライフ・ハビタット」など、見所が満載です。

人気観光地での節約術

カリフォルニア州サンディエゴでは、毎年 10 月に実施される「Kids Free San Diego」キャンペーンにより、家族旅行がよりお得に楽しめます。市内の主要アトラクションへの子どもの無料入場をはじめ、レストランでのキッズミール無料サービス、ホテルでのウェルカム特典など、多彩な優待が揃い、親子で充実した滞在を満喫できます。過ごしやすい気候の中、子ども連れの旅行に最適な秋のサンディエゴを満喫する絶好の機会です。

1 年以内に複数の国立公園や連邦レクリエーション施設を訪れる予定がある方には、「America the Beautiful」年間パスの利用がおすすめです。80ドル(約 12,000 円)で購入でき、全米 2 千か所以上の自然保護区や国立公園に自由にアクセス可能です。グランドキャニオンやイエローストーンなど、憧れの絶景スポットをお得に巡ることができ、自然を愛する旅行者にとって人気のパスです。

アメリカの主要都市では、観光施設、アクティビティ、公共交通機関をお得に楽しめる「観光パス(マルチアトラクションパス)」が多数提供されています。これらのパスを活用することで、主要な観光地を割引価格で効率よく巡ることが可能です。たとえば「Go City アトラクションパス」では、全米の主要都市において、複数の観光スポットへの入場がセットになっており、博物館、展望台、動物園などの施設も割引料金で利用できます。一つの都市で複数の観光名所を訪れたい旅行者にとって、コストパフォーマンスの高い選択肢です。また、「CityPASS」では、ニ



ニューヨーク、シカゴ、サンフランシスコ、ロサンゼルスなど人気の都市で、代表的な観光施設の入場チケットがセットで提供されています。一般的に 4～5 カ所の主要アトラクションに入場でき、施設によっては、優先入場の特典が含まれることもあります。そのほか、都市独自のパスもあり、バージニア州アレクサンドリアでは「アレクサンドリア・キー・トゥ・ザ・シティ・アトラクションズ・パス」が利用可能です。このパスでは、9 つの歴史的施設への入場に加え、ジョージ・ワシントンの邸宅「マウントバーノン」や「シティ・クルーズ・アレクサンドリア」のポトマック川往復水上タクシーなど、その他の観光施設も最大 40%割引で利用できるお得なパスです。

スキー旅行を計画している方には、「Epic Pass」や「Ikon Pass」といった、複数のスキーリゾートを定額で利用できる年間パスの活用がおすすめです。特に、コロラド州やユタ州のように、都市部からアクセスしやすい場所に複数のスキー場が点在する地域では、効率よく複数のゲレンデを楽しめるため、費用対効果の高い選択肢となります。

ノースカロライナ州の州都ローリーは、「南部のスミソニアン」とも称されるほど文化施設が充実した街です。「ノースカロライナ自然科学博物館」や「ノースカロライナ美術館」をはじめ、無料で入館できる高水準の博物館やアート施設が数多く集まり、知的好奇心を刺激する旅が楽しめます。

アメリカ本土外での旅を検討している方には、カリブの陽光あふれるプエルトリコもおすすめです。スペイン植民地時代の面影を色濃く残すオールド・サンファン歴史地区では、石畳の街並みや色鮮やかな建物を散策しながら、異国情緒を満喫できます。また、島内には無料で利用できる公共ビーチも点在しており、美しい海と自然を気軽に楽しめるのも魅力です。節約しながらリゾート気分が味わえる、穴場的な旅先です。

全米の多くの都市では、年間を通して特定日に博物館や植物園、文化施設が無料開放される日があります。訪問前には各施設の公式サイトで、無料入場日や特別展示、予約の有無などを確認することをおすすめします。

各地で開催される無料ウォーキングツアー

アメリカの多くの都市では、地元の知識豊かなガイドによる無料のウォーキングツアーが提供されており、街の歴史や建築、文化を深く知ることができます。

ボストンでは、「マサチューセッツ州会議事堂」や「ポール・リビアの家」など、全長約 4 キロにわたる 16 の歴史的スポットを結ぶ「フリーダム・トレイル」の散策が人気です。ニューオーリンズでは、「NOLA Tour Guy」が主催するフレンチ・クオーターのウォーキングツアーで、ジャズの歴史や建築様式の魅力に触れながら地区の雰囲気を楽しむことができます。

ニューヨークでは価格が決まっていない、“支払い自由方式”の「Tours by Foot」ウォーキング



ツアーが人気で、ロウアー・マンハッタン、セントラルパーク、金融街などを巡ります。西海岸では、サンフランシスコの「**San Francisco City Guides**」による無料ツアーで、チャイナタウンやゴールデンゲートブリッジ周辺の名所をガイド付きで歩くことができます。

建築に関心のある方には、シカゴの「**Free Chicago Walking Tours**」がおすすめです。街の象徴であるスカイラインや「ミレニアム・パーク」、ループ地区の建築遺産を無料で巡ることができます。また、ワシントン D.C.では、「**ナショナル・モール**」を巡る無料ツアーを通じて、アメリカを象徴する記念碑やモニュメントの歴史をじっくり学ぶことができます。

グルメを賢く楽しむ

アメリカ各地のマーケットでは、新鮮な地元食材やリーズナブルなストリートフード、クラフト製品などが楽しめます。

カリフォルニア州サン・ルイス・オビスポのファーマーズマーケットは、本年 50 周年を迎える全米最古の通年開催されるナイトマーケットで、毎週木曜の夜にダウンタウン 5 ブロックを舞台に開催されます。地元アーティストによる作品やストリートフード、カリフォルニア州セントラルコースト産の農産物や乳製品など、100 以上の屋台が出店します。

フロリダ州ジャクソンビルでは、フラー・ウォーレン橋の下で毎週土曜に開催される「**リバーサイド・アーツ・マーケット**」で、新鮮な食材や手作りアクセサリ、地元バンドによるライブ演奏などが楽しめます。川沿いの開放的な空間に集まる多彩なベンダーと来場者の熱気が、週末のひとときをさらに特別なものにしてくれます。

ワシントン州シアトルの「**パイクプレイス・マーケット**」は、全米で最も長く続くパブリックマーケットの一つです。職人による手工芸品や新鮮な食材が集まるほか、名物の“魚投げ”パフォーマンスも見逃せません。観光客はもちろん、地元の人々にも愛される活気あふれる名所です。

テキサス州の「**サン・アントニオ・マーケットスクエア**」は、全米最大級のメキシコ系マーケットとして知られ、色鮮やかな雑貨や伝統的な民芸品が所狭しと並びます。マリアッチの演奏が響く中、本格的なタコスやスイーツを楽しむことができ、ラテン文化の魅力にたっぷり浸れるスポットです。

また「レストランウィーク」と呼ばれる、各都市で開催されるグルメイベントでは、人気レストランの料理が割引価格で提供され、一流店の味をお得に楽しむことができます。ニューヨークでは、年に 2 回(冬と夏)開催される「**NYC レストランウィーク**」にあわせて、市内 5 つの行政区にある数百のレストランで、複数コースの食事を特別価格で楽しむことができます。ニューヨーク市のレストランウィークは、例年冬と夏の年 2 回開催されます。2025 年の夏季レストランウィークの日程はまだ発表されていませんが、例年 7 月から 8 月にかけて開催されています。最新の情報



は、[公式サイト](#)をご確認ください。

ロサンゼルスでは、1月と7月に開催される「**Dine LA**」で、市内の人気レストランにて特別価格のコースメニューが提供され、洗練された西海岸グルメから多国籍な食文化まで、ロサンゼルスならではの多様な味わいを気軽に体験できます。食のトレンド発信地であるこの街の魅力を、手頃な価格で楽しめる絶好のチャンスです。

ニューオーリンズでは、毎年8月から9月初旬にかけて開催される「**クリーナリー・ニューオーリンズ**」で、クレオールやケイジャン料理をはじめとした豊かな食文化をお得に堪能できます。伝統と革新が共存するこの美食都市ならではの味覚体験が、夏の旅をさらに印象的なものにしてくれます。

また、ニューメキシコ州サンタフェでは、毎年2月に開催される「**サンタフェ・レストランウィーク**」で、地元食材や伝統的な料理を活かした特別メニューを提供しています。アートと文化が薫るこの街ならではの、地域色豊かな食の魅力に触れる機会となっています。

自然のなかで無料アクティビティを楽しむ

コロラド州デンバー近郊の「**レッドロックス公園&野外劇場**」は、有料イベントの開催時を除き、敷地内を自由に散策できます。会場内のビジターセンターには、音楽ファンに嬉しい無料の「**レッドロックス・パフォーマーズ殿堂ミュージアム**」も併設されています。周囲には静かな自然を満喫できるハイキングトレイルが数多く揃っています。

フロリダ州南部のマーティン郡では、パームビーチ国際空港、フォートローダーデール、マイアミ、オーランドという4つの国際空港からいずれも車で約2時間圏内というアクセスの良さを誇ります。現地で親しまれているビーチはすべて、駐車場や入場料を含めて常時無料で開放されています。

ハワイ州のビーチもすべて無料で利用可能です。原則として個人が所有できないことになっているため、すべてのビーチが公共の資産として開放されています。（ビーチに行く際は、私有地を横断せずに公共のアクセスルートを利用する必要があります）

ニューヨーク州の「**ナイアガラ・フォールズ州立公園**」は、年中無休・入場無料で開放されており、さまざまなビューポイントから壮大な滝の景色を堪能できます。さらに、現地では無料のガイド付きハイキングやナイアガラ周辺の地域公園群で実施されるガイド付き自然体験プログラムも開催されています。

自由度の高いロードトリップで思い出深い旅を

レンタカーを利用すれば、旅の自由度が格段に上がり、一般的な観光地から一歩外れたユニ



ークな場所にもアクセスが可能です。

ケンタッキー州東部を縦断する全長約 230 キロの「カントリーミュージック・ハイウェイ(U.S.ルート 23)」は、地域の豊かな音楽遺産をたどるドライブルートです。沿道には博物館やライブ会場、文化イベントなどが点在しています。

また、アメリカを象徴するドライブルート「ルート 66」は、2026 年に開通 100 周年を迎えます。シカゴからサンタモニカまでの約 3,940km にわたり、伝説的なロードトリップの魅力を満喫できます。旅のスタートはイリノイ州シカゴからで、「ウィリス・タワー」や「シカゴ建築リパークルーズ」、「シカゴ美術館」などの名所を楽しめます。ミズーリ州では、セントルイスの「ゲートウェイ・アーチ」や「ルート 66 州立公園」がおすすめです。カンザス州では、映画「カーズ」に登場する人気キャラクター「メーター」のモデルとなったレッカー車が展示されている「Cars on the Route」がある小さな町、ガリーナが注目スポットです。歴史あるルート 66 沿いに位置するこの町では、映画の世界観を感じられるノスタルジックな雰囲気を楽しめます。

オクラホマ州では、タルサにある「ルート 66 ネオンサイン」や「メドウゴールド・ネオンサイン」が、ドライブの道中を鮮やかに彩ります。テキサス州アマリロの「ルート 66・シックスストリート歴史地区」では、ヴィンテージ感あふれる街並みが保存されており、ノスタルジックな雰囲気を楽しめます。ニューメキシコ州では、リノベーションされたロードサイドモーターでの宿泊や、レトロな内装が魅力の「66 ダイナー」などでの食事も、クラシックなアメリカンロードトリップ気分を満喫できるおすすめの体験です。

アリゾナ州には、アウトドア体験で人気の街・フラッグスタッフや、イーグルスの楽曲「テイク・イット・イージー」の歌詞に登場する「スタンディング・オン・ザ・コーナー・パーク」があるウィンズローなど、ルート 66 らしい個性豊かなスポットが点在しています。終着地となるカリフォルニア州では、ロサンゼルスやビバリーヒルズを抜け、ルート 66 の終わりを象徴する「End of the Trail」の標識が立つサンタモニカ・ピアへとたどり着きます。旅のフィナーレを記念するフォトスポットとして、多くの旅行者に親しまれています。

カリフォルニア州では、もう一つの名ルート「パシフィック・コースト・ハイウェイ(PCH)」もおおすすめの絶景ドライブコースです。ヨーロッパの街並みを思わせる洗練されたリゾートタウン、カーメル・バイ・ザ・シーや、断崖と海が織りなす雄大な自然美が広がるビッグ・サーなど、走ると表情を変える海岸線の風景を楽しめます。太平洋を望みながら、心に残るドライブ体験が叶うルートとして、多くの旅行者に親しまれています。

宿泊費を抑えるための工夫

宿泊施設は早めの予約でお得な料金を確保できる場合が多く、旅行日程に柔軟性を持たせることでさらに割引を受けられる可能性も広がります。



エンバシー・スイーツ、スプリングヒル・スイーツ、ハンプトン・イン・バイ・ヒルトン、ライムライト・ホテルなどのチェーンホテルでは、無料の朝食など旅行者に嬉しいサービスを提供している施設も多数あります。

自然の中で過ごす体験を楽しみたい方には、キャンプやグランピングが最適です。自然の中でユニークな宿泊体験を提供するオンライン予約プラットフォームの「Glamping Hub」や「Airbnb」のグランピングカテゴリーでは、ログキャビンからサファリテントまで、多様なスタイルの宿泊施設を探すことができます。

従来のキャンプを好む方には、全米に展開する「ヨギ・ベア ジェリーストーン・パーク・キャンプリゾート」がおすすめです。こちらの施設では、プールや遊具などを備えた家族向け施設が充実しています。

地域ならではの文化や暮らしに触れたい旅行者には、B&B（ベッド&ブレイクファスト）の利用も選択肢の一つです。家庭的な雰囲気とホストとの温かな交流に加え、手作りの朝食が楽しめる点も魅力です。カリフォルニア州を訪れる際は、「カリフォルニア・アソシエーション・オブ・ブティック&ブレイクファスト・インズ（CABBI）」を通じて、地元根差した上質な B&B を見つけることができます。

アメリカでは、本年を通じて、旅行者の予算に寄り添った体験型観光やお得なパスの提供が各地で進んでおり、今後も多彩な情報が順次公開されていく予定です。詳細は随時、ブランド USA の[公式ウェブサイト](#)にて公開予定です。

「忘れられない旅の体験に、高額な費用は必ずしも必要ではありません。息を呑むような海岸沿いのドライブ、活気あふれる文化フェスティバルのリズムに浸る時間、歴史深い街を歩いてめぐる発見、あるいは世界的な美術館を無料開放日に訪れる楽しみなど、アメリカには、季節や予算に関係なく、価値ある体験が無限に広がっています。」（ブランド USA のプレジデント兼最高経営責任者、フレッド・ディクソンのコメント）

■ ブランド USA について

アメリカ合衆国の公式観光促進団体であるブランド USA は、アメリカを優れた旅行デスティネーションとして訴求し、国外から旅行者に対しアメリカの観光施策を伝達することをその目的として、旅行促進法に基づき、アメリカ初の半官半民の事業体として設立されました。当団体は、海外からアメリカを訪れる旅行者の増加によってアメリカ経済を活性化し、世界におけるアメリカのイメージを向上させることを目的としています。2010 年に Corporation for Travel Promotion（米国旅行促進協会）として設立されたこの官民組織は、2011 年 5 月に活動を開始し、ブランド USA として事業を展開しています。オックスフォード・エコノミクス社の調査によると、ブランド USA は過去 11



年間のマーケティング施策により、海外からの訪米観光客が 870 万人増え、約 288 億ドル(約 4 兆 3200 億円 1ドル=150 円換算レートにて計算)の消費額の増加、毎年 3 万 6,800 件を超える雇用の創出、83 億ドル(約 1 兆 2,450 億円)の連邦税、州税、地方税収入の増加を達成しており、その総経済効果は約 630 億ドル(約 9 兆 4,500 億円)に上り、投資 1ドル(150 円)あたり 20ドル(約 3,000 円)の経済的リターンを生み出しています。

ブランド USA に関する業界向けの詳細情報やパートナーに関する情報については、TheBrandUSA.com、または弊社の [Facebook](#)、[LinkedIn](#)、[X \(旧 Twitter\)](#) をご覧ください。アメリカ旅行の無限の多様性と本物の豊かな文化に関する情報は、ウェブサイト GoUSA.jp、または [Facebook](#) (Visit The USA)、[TikTok](#)、[Instagram](#) をご覧ください。[GoUSATV](#) では旅行動画を配信しています。

当リリースに関するお問い合わせ先

ブランド USA 日本事務所（広報担当：早瀬、水口、野間）

TEL: 03-6261-5385 E-mail: BrandUSAJapan@aviareps.com